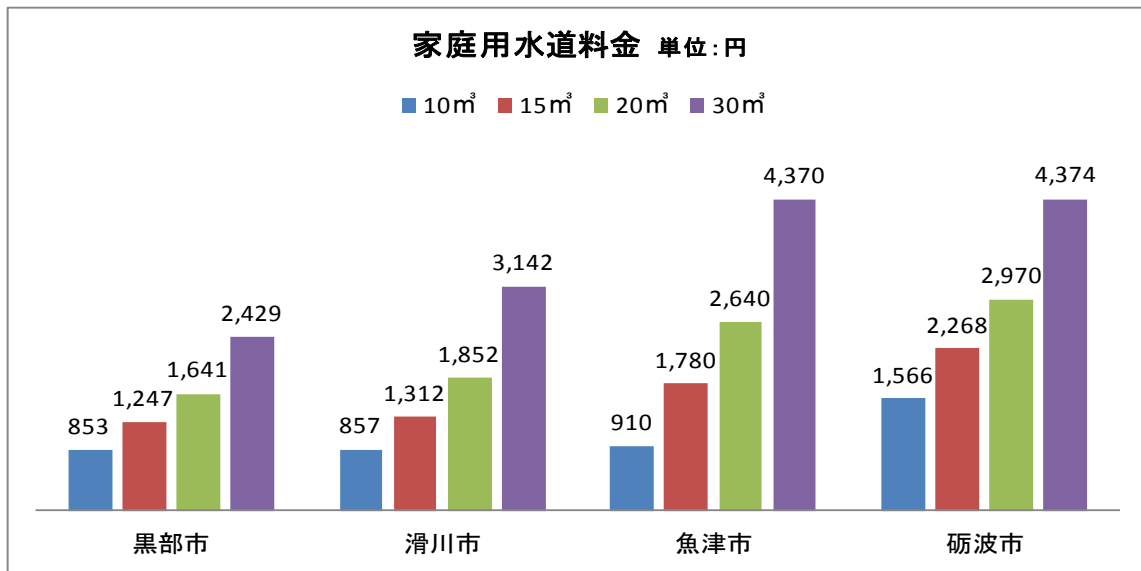


# 魚津市水道事業の現状と課題

## 1. 上水道料金

※ 県内 10 市では真ん中より安い方です。  
 ※ しかし、県東部の市の中では高くなっています。

### (1) 4 市家庭用上水道料金比較



### (2) 一月当りの家庭用上水道料金 (口径 13 mmメーター使用料 消費税含む)

	魚津市	使用者割合(概算)	説明
10 m³あたり	910 円(低い方から 3 位)	10 m³以下は約 37%	県内 10 市 (853 円~2, 202 円)
20 m³あたり	2, 640 円(低い方から 4 位)	20 m³以下は約 70%	県内 10 市 (1, 641 円~4, 578 円)
30 m³あたり	4, 370 円(低い方から 4 位)	30 m³以下は約 80%	県内 10 市 (2, 429 円~7, 116 円)

※出典 富山県の水道の現況 (平成 26 年度)

当市の上水道料金は、平成 10 年に値上げ (平均 15%程度) してから消費税増による値上げ以外は据え置かれています。

## 2. 魚津市上水道用途別件数、金額

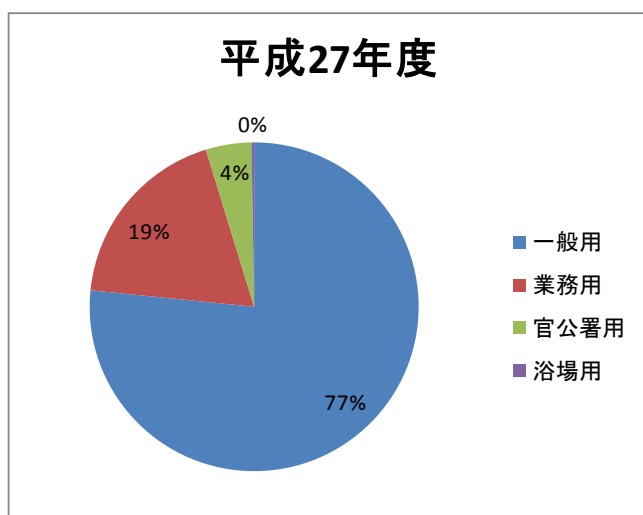
### (1) 件数推移

調定件数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H21
一般用	13,163	13,291	13,348	13,501	13,632	13,751	13,697	104.1%
業務用	1,000	1,003	1,001	1,010	1,011	1,012	1,036	103.6%
官公署用	160	160	158	158	158	162	162	101.4%
浴場用	9	8	8	8	7	7	7	79.2%

### (2) 上水道料金推移

料金(消費税抜き)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H21
一般用	411,778,477	414,169,720	406,692,340	406,035,200	398,524,750	395,109,605	390,708,540	94.9%
業務用	101,406,922	102,291,690	98,918,560	100,126,860	96,402,460	97,095,810	95,177,570	93.9%
官公署用	28,922,810	29,127,650	27,684,040	26,487,880	24,349,980	24,017,400	22,868,150	79.1%
浴場用	1,274,600	1,190,400	1,171,140	1,242,960	1,268,520	1,356,360	1,324,680	103.9%

(3) 用途別上水道料金割合（平成 27 年度）

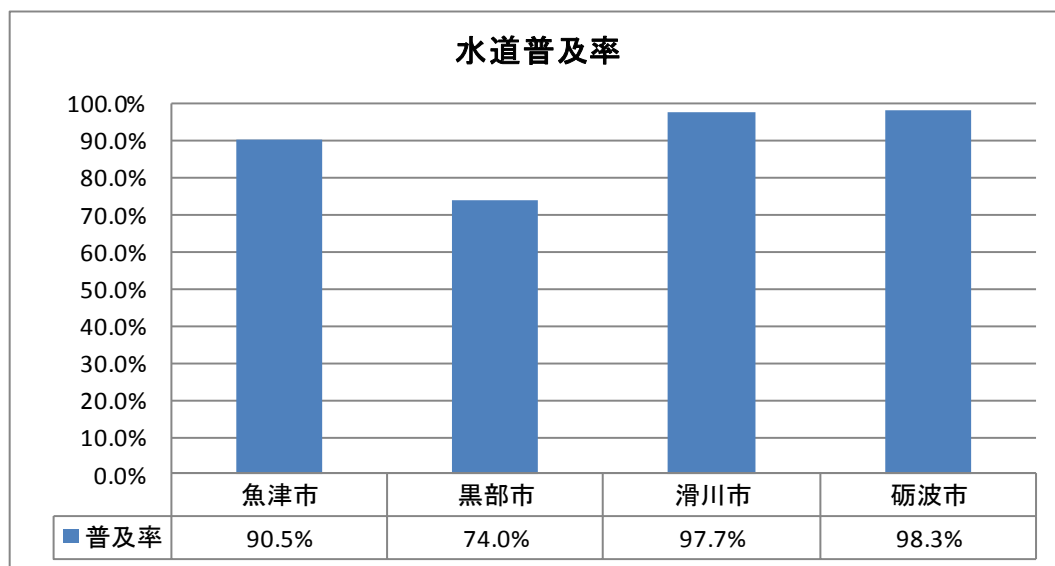


※ 上水道料金の多くは、は家庭用で賄われています。

2. 水道事業の現状

(1) 4市 水道普及率（人口に対して水道を利用している人の割合）

※ 滑川市や砺波市より水道普及率が低いのは、井戸水利用が多いためと考えられます。

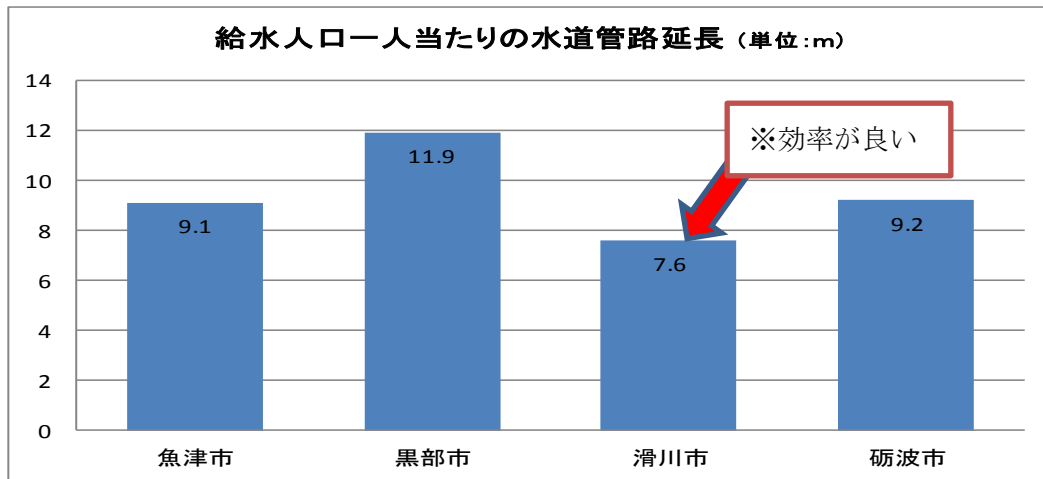


※出典 富山県の水道の現況（平成 26 年度）

平成 26 年度の水道普及率は 90.5%（県内全市中 8 位）で、他市と比較して低くなっています。

(2) 4市 給水人口からみた水道管路延長の他市との比較

※ 山間部から平野部まで人口がまばらな特徴があり、人口一人当たりの管路延長が長く、施設整備の費用が高くなります。  
 ※ 散居村の砺波市と同程度です。

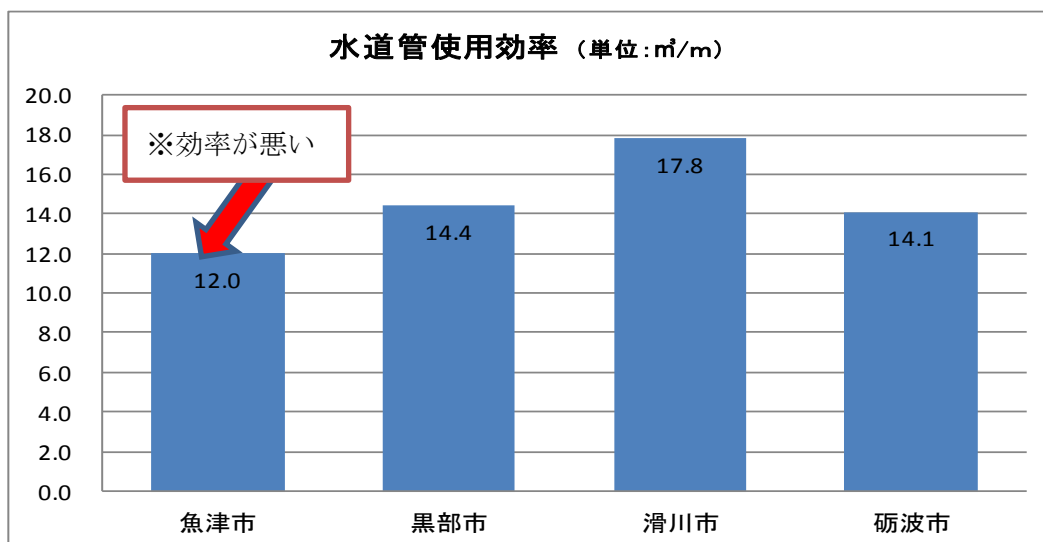


事業体名	① 現在給水人口 (人)	② 水道管路延長 (m)	③ = ② / ① 現在給水人口 1 人当たり 水道管路延長 (m)	効率が 良い順
魚津市	39,007	356,041	9.1	2
黒部市	30,233	359,003	11.9	4
滑川市	32,321	245,900	7.6	1
砺波市	47,880	438,931	9.2	3

※出典 富山県の水道の現況 (平成 26 年度)

(3) 4市 管路使用効率の他市との比較

※ 工場等での井戸水利用が多いため、水道水の使用量が他市と比べると少なくなっています。



事業体名	① 実績年間 取水量 (m <sup>3</sup> )	② 水道管路延長 (m)	③ =①/② 水道管使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	効率が 良い順
魚津市	4,292,988	356,041	12.0	4
黒部市	5,115,410	359,003	14.4	3
滑川市	4,383,000	245,900	17.8	1
砺波市	6,620,000	438,931	14.1	2

※出典 富山県の水道の現況 (平成 26 年度)

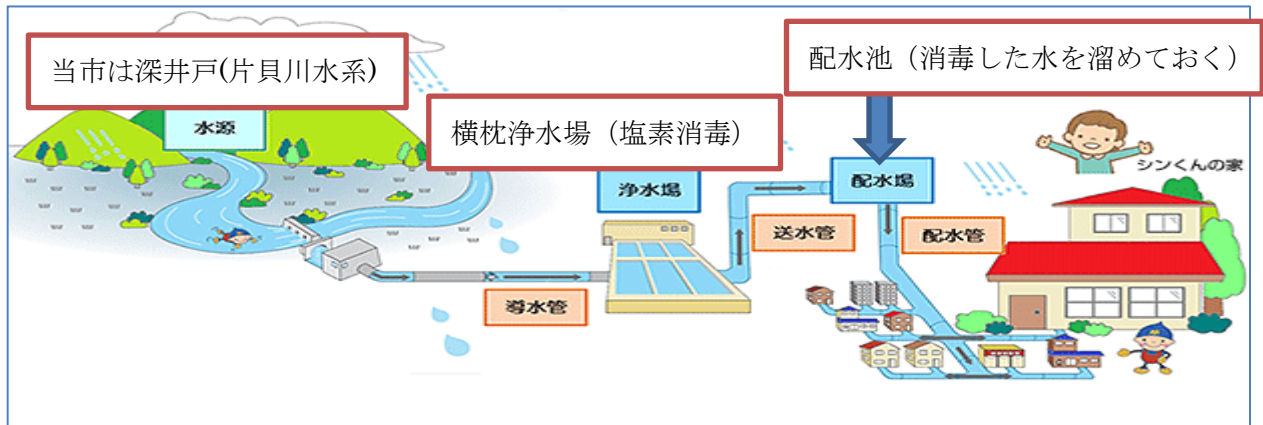
当市の大口水道利用者上位 20 位の中には工場の水道利用はありません。

工場用水道料金を設定している滑川市では、**工場用有収水量は生活用有収水量の 18%程度**(水道料金は営業用の 87%程度)となっています。

そのため、滑川市の取水量が当市と同程度なのは工場の水道利用が影響しているものと推測されます。

### 3. 水道水の配水のしくみ

※ 深井戸から水をくみ上げて、質の良いおいしい水を提供しています。



当市の水源は、ほとんど深井戸を使用しています。地表の影響を受けにくいため、湯水等の心配もありません。また、水質が良好であるため、**特に水処理を必要とせず、塩素消毒のみで供給**することができます。

#### (1) 4市 水道施設数の状況

事業体名	水源地数(箇所)	実績年間取水量(m <sup>3</sup> /年)	配水池数(箇所)	有効容量(m <sup>3</sup> )
魚津市	深井戸 16(うち上水道8)	4,292,146	21	11,433
	湧水 2	842		
	計 18	4,292,988		
黒部市	伏流水 3	1,091,380	19	9,139
	深井戸 13	3,137,681		
	湧水 6	926,349		
	計 22	5,155,410		
滑川市	伏流水 1	1,554,000	15	10,551
	深井戸 11	2,829,000		
	計 12	4,383,000		
砺波市	伏流水 3	993,000	23	18,688
	受水(ダム) 2	4,571,000		
	浅井戸 1	1,046,000		
	湧水 4	10,000		
	計 10	6,620,000		

#### 4. 当市の老朽水道施設耐震化は大幅に遅れています。

##### (1) 県内各市の水道施設等耐震化率

	魚津市	県内他市の状況
浄水施設耐震化率	0%	6市 100%~11.8%、2市 0%
配水池耐震化率	18.5%(8位)	7市 98.5%~24.2%、2市 0%
※基幹管路耐震化率	2.1%(10位)	8市 78.3%~3.5%

※基幹管路---深井戸から浄水施設、配水池、各地域送る主要管路

※出典 県生活衛生課資料（平成26年度）

懸案であった低区配水池築造事業関連事業が平成29年度に終了することにより、配水池の耐震化率（配水池容量）は18.5%から**42.4%**へと向上することになります。

##### (2) 魚津市の老朽管路更新率

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
管路更新率	0.6%	1.0%	0.9%	0.7%	0.7%	0.6%

従来から老朽管の更新率は年1%を目標に事業を進めていましたが、財源確保等の問題により過去6年間の平均では更新率は年0.75%にとどまりました。仮に年1%の管路更新に係る経費は3億5千万程度になります。

#### 5. 施設改良費用を借金にたよっています。

施設改良建設の財源の多くを企業債（借金）で賄っているため、その返済に要する費用が多額となっています。

##### (1) 県内各市の料金収入に対する企業債元利償還金（借金返済金）の比率

	魚津市	県内他市の状況	説明
比率	52.9%(9位)	8市 14.3%~48.2%	料金収入に対する借金返済金の比率で、率が高い程経営を圧迫している。

※出典 富山県の水道の現況（平成26年度）

※ 料金収入が1,000円の場合、529円が過去の借金返済に当てられます。配水池築造事業関連事業の借金返済により平成32年度以降は、これが600円代後半になる見込みです。

#### 6. 上水道事業（投資）計画の課題

財源確保の問題もありますが、給配水管をはじめとした水道施設等は重要なインフラです。

- (1) 今後は市民生活に支障をきたさぬよう主要管路である基幹管路を中心に整備を進めていく必要があります。
- (2) また、配水池、浄水施設は耐震診断に基づき緊急性の高いものから順次整備する必要があります。